

大会運営等ガイドライン

(新型コロナウイルス感染防止対策)

2022年4月15日 版



目次

【1】大会運営等ガイドラインについて

- | | |
|----------------------|----|
| 1. はじめに | P1 |
| 2. 開催における留意点について | P1 |
| 3. 大会運営・講習会・研修会の開催方針 | P1 |
| 4. 参加者に求める感染拡大防止措置 | P2 |

【2】大会運営

- | | |
|--------------------------------|----|
| 1. 大会当日受付時の留意事項（役員、監督・選手、観客共通） | P3 |
| 2. ゾーニング・動線 | P4 |
| 3. 諸室（控室） | P4 |
| 4. 手洗い場・洗面所等（トイレ） | P4 |
| 5. 観客席 | P5 |
| 6. 机・椅子の消毒・ゴミの破棄 | P5 |
| 7. その他 | P6 |

【3】競技運営

- | | |
|---------------------------|----|
| 1. 競技に関する留意事項（コート関連） | P7 |
| 2. 競技に関する留意事項（プロトコール・試合中） | P7 |

【4】その他留意事項

- | | |
|-----------------------------|----|
| 1. 新型コロナウイルス感染症にかかる相談窓口について | P8 |
|-----------------------------|----|

【1-1】大会運営等ガイドラインについて

1. はじめに

本ガイドラインは、「公益財団法人日本バレーボール協会 大会運営ガイドライン2022.0401-更新版」に基づいてソフトバレーボールの特性に鑑みた『新型コロナウイルス感染防止対策ガイドライン』を日本ソフトバレーボール連盟が作成しました。なお、「厚生労働省の新型コロナウイルス感染症について」および「内閣官房HP」を参考にしております。

2. 開催における留意点について

- ① 感染拡大の状況および政府や開催地都道府県、それぞれの施設管理会社の指針に基づいて主催者側を含めた関係部署での十分な協議が必要になります。感染リスクへの対応が整わない場合には、中止または延期するなど慎重に決定してください。
- ② 大会の主催者は、障がい者や高齢者などを含む参加者それぞれの属性を勘案して、感染防止のために自らが実施すべき事項や参加者が遵守すべき事項を、適切な場所（大会の受付場所等）に掲示するとともに、各事項が遵守されているかを定期的に巡回・確認することにより、大会の主催者だけでなく、参加者を含む関係者全員が感染防止に取り組むことが必要です。
- ③ 感染者が発生した場合に備え、受付時に集めた健康チェックシート等の情報は個人情報保護に留意して保存期間（1カ月以上）を定めて主催者が保管してください。

3. 大会運営・講習会・研修会の開催方針

大会等の開催については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況に応じて、以下の指針を基に判断いたします。

- 政府および開催地自治体の方針
- 緊急事態宣言の発令の有無
- イベント自粛要請
- 施設利用の自粛要請
- チーム関係者の状況
- その他競技団体の動向
- その他イベント開催の動向

新型コロナウイルス感染状況は刻々と変化しています。指針とは異なる事柄や指針にはないような状況に直面する場合もあるかと思われます。その際は国や都道府県、関係省庁の指針だけでなく、厚生労働省の新型コロナウイルス感染症について（参考1）、内閣官房HP（参考2、3）などからの情報に加えて、参加者や関係者の「安全・安心」を最優先に大会運営に当たってくださいますようお願いいたします。

（参考1）https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

（参考2）<https://corona.go.jp/proposal/>

（参考3）https://corona.go.jp/package/assets/pdf/jimurenaku_seigen_20220218.pdf

【1-2】大会運営等ガイドラインについて

4. 参加者に求める感染拡大防止措置

大会および講習会・研修会等の主催者は参加募集に際し、感染拡大の防止のために参加者が遵守すべき事項を明確にして、協力を求めてください。参加者の安全を確保するため、これを遵守できない参加者には大会等への参加を取り消したり、途中退場を求めたりすることを周知してください。なお、大会等の主催者が参加者に求める感染拡大防止のための措置として、以下が挙げられます。

① 次の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせる（大会当日に書面で確認を行う）

ア 体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）

イ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合

ウ 直近14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

② マスクを持参すること（受付や着替え等の競技を行っていない時、また会話をする際には、マスクを着用すること）

- ・移動しているとき
- ・競技を行っていないとき
- ・ベンチにいるとき
- ・会話をするときにはマスクを着用してください

マスク着用のお願

ウイルス感染防止のため、マスクの着用をお願いいたします。



③ こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を行うこと

- ・入館・退館時
- ・食事の前後
- ・トイレの後



④ 他の参加者、主催者スタッフとの距離を確保すること（できるだけ2m以上）
（障がい者の誘導や介助を行う場合を除く）



⑤ 感染拡大防止策のために、主催者が決めたその他の措置を遵守し、主催者の指示に従うこと

⑥ 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること

【2-1】大会運営

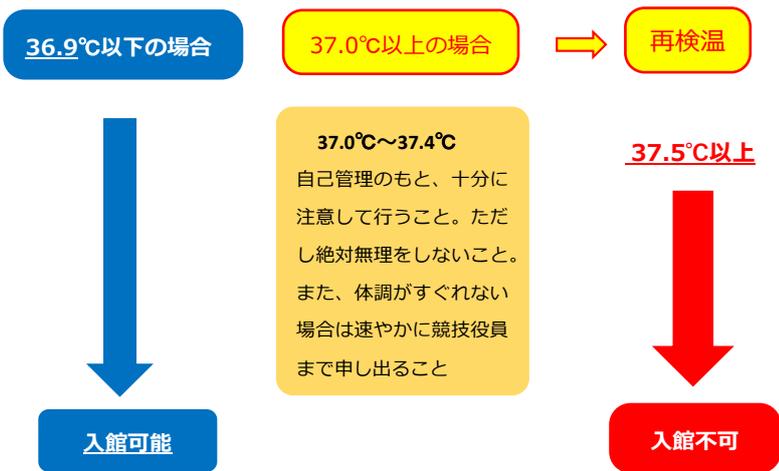
1. 大会当日の受付時の留意事項（役員、監督・選手、観客共通）

大会の主催者は、大会当日の受付時に参加者が密になることの防止や、安全に大会を開催するため、以下に配慮して受付事務を行うことが必要です。

- ① 受付窓口には、手指消毒剤を設置すること
- ② 発熱や軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある人は入場しないように呼び掛けること
(状況によっては、発熱者を体温計などで特定し、入場を制限することもある)
- ③ 人と人が対面する場所は、アクリル板、透明ビニールカーテンなどで遮蔽すること
- ④ 参加者が距離をおいて並べるように目印の設置等を行うこと
- ⑤ 受付を行うスタッフには、マスク（必要に応じてフェイスシールド）を着用させること



- ・ 大会当日2週間前からの検温記入欄
- ・ 基本的な健康チェック欄



★検温済みの目印となるシールをお渡しするので必ず定められた位置に貼付してください。

提出日： 年 月 日

公益財団法人 日本バレーボール協会

健康チェックシート（提出用）

本健康チェックシートは、JVAの加盟団体が開催する各種大会・講習会において、新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、参加者の健康状態を確認することを目的としています。
本健康チェックシートに記入された個人情報について、各協会及び主催者は、厳正なる管理のもと管理し、大会・講習会等開催関係者の健康状態の把握、発症予防の目的にのみ利用いたします。また、個人情報保護法等の法令において認められる場合を除き、ご本人の同意を得ずに第三者に提供いたしません。尚且、大会会場にて感染症発生またはその他の疑いのある方が発生した場合には、必要な調査と保健所に報告することとなります。

＜基本情報＞		所属
氏名	フリガナ	生年月日
氏名	フリガナ	西暦 年 月 日（歳）
性別	〒	携帯電話番号
自宅住所		Eメール
		アドレス

＜大会当日までの体温＞ 各測の来場前1社で記入ください。来場前日14日前からの記録をお願いします

日付	起床時体温	日付	起床時体温	日付	起床時体温	日付	起床時体温
/ ()	℃ / ()	℃ / ()	℃ / ()	℃ / ()	℃ / ()	℃ / ()	℃ / ()
/ ()	℃ / ()	℃ / ()	℃ / ()	℃ / ()	℃ / ()	℃ / ()	℃ / ()
/ ()	℃ / ()	℃ / ()	℃ / ()	℃ / ()	℃ / ()	℃ / ()	℃ / ()
/ ()	℃ / ()	℃ / ()	℃ / ()	℃ / ()	℃ / ()	℃ / ()	℃ / ()

＜大会前2週間における健康状態＞ ※該当するものに「✓」を記入してください。

チェック項目	チェック欄
① 平熱を超える発熱がない	
② 咳（せき）、のどの痛み等の風邪症状がない	
③ だるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）がない	
④ 臭気や味覚の異常がない	
⑤ 体が重く感じる、疲れやすい等の症状がない	
⑥ 新型コロナウイルス感染症罹患性とされた者との濃厚接触がない	
⑦ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいない	
⑧ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間が必要とされている国、地域への接触または当該在住者との濃厚接触がない	
⑨ その他、気になること（以下に自由記述）	

確認日 西暦 年 月 日

【2-2】大会運営

2. ゾーニング・動線（※試合会場のスペース等も考慮ください）

受付終了後、それぞれ控室・競技場に移動する際に、チーム（選手）と競技役員または観客との動線を区別し、更に会場のゾーニングと動線について使用する体育館等の状況に応じて設計をお願いします。

① 会場のゾーニングを徹底することで、感染者が発生した際の影響範囲を限定することが可能になります。

ゾーン1：競技関連：コート、ベンチを含む競技エリア、選手入場口

ゾーン2：大会運営スタッフ等：役員スタッフ控室、本部席

ゾーン3：選手・観客・保護者・応援団等：客席・ギャラリー

3. 諸室（控室）

更衣室、大会役員控室、競技役員控室、荷物置き場など休憩・待機スペースは感染リスクが比較的高いと考えられることに留意する必要があります。大会等の主催者は、更衣室や、一時的な休憩をするための休憩スペース、参加者等が参加前の確認を受ける待機スペース（招集場所）について、以下に配慮して準備をお願いします。

- ① 広さにはゆとりを持たせ、他の参加者と密になることを避けること（障がい者の介助を行う場合を除く）
- ② ゆとりを持たせることが難しい場合は、一度に入室する参加者の数を制限する等の措置を講じること
- ③ 室内又はスペース内で複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、ロッカーの取っ手やテーブル、椅子等）については、こまめに消毒すること
- ④ 換気扇を常に回す、換気用の小窓を開ける等、換気に配慮すること

4. 手洗い場・洗面所（トイレ）

- ① 手洗い場には石鹸（ポンプ型が望ましい）を用意すること
- ② 手洗い後に手を拭くためのペーパータオル（使い捨て）を用意すること
- ④ 手洗いが難しい場合は、アルコール等の手指消毒剤を用意すること
- ⑤ 手指を乾燥させる設備については使用しないこと、参加者にマイタオルの持参を求めること
- ⑥ 洗面所（トイレ）についても感染リスクが比較的高いと考えられることに留意する必要があります。
- ⑦ トイレ内で複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、水洗トイレのレバー等）については、こまめに消毒すること
- ⑧ トイレの蓋を閉めて汚物を流すよう表示すること
- ⑨ 手洗い場には石鹸（ポンプ型が望ましい）を用意すること

【2-3】大会運営

5. 観客席

大会の観戦において観客も参加させる場合には、観客同士が密な状態とならないよう、必要に応じ、あらかじめ観客席の数を減らすなどの対応をとることが必要です。（感染防止安全計画を策定し、都道府県による確認を受けた場合、人数上限は収容定員まで、収容率の上限を100%とすることを基本とする。それ以外の場合は、収容定員50%とする。この場合、都道府県が定める様式に基づく感染防止策等を記載したチェックリストをイベント主催者等が作成・HP等で公表することとする）

- ① 大声での声援を送らないことや会話を控えてください。
- ② 会話をする場合にはマスクを着用することや外履き等の留意事項を周知ください。（アナウンスでの周知）
- ③ 屋内で競技を実施する場合には、換気の悪い密閉空間とならないよう、十分な換気を行ってください。試合中は遮光の関係で暗幕を閉じる必要が出てきます。窓を開けながら行うとしても気温上昇にともない、定期的に窓を開け外気を取り入れる等の換気を行うことが大切です。具体的には空調設備や必要に応じて扇風機を活用するなどの工夫を心掛けてください。
- ④ 主催者は、感染対策とともに熱中症のリスクにも備えてください。特に、マスクを着用していると水分補給を忘れてしまうことにより体温が上昇することがあるため、こまめに水分を補給するように注意喚起をお願いします。

6. 机・椅子の消毒・ゴミの廃棄

会場で使用する机・椅子の消毒については、使用前に必ず消毒を行ってください。

- ① チームベンチについても、試合前に必ず消毒を行うこと。特に1日2試合以上開催の場合には試合間にもベンチの消毒を行ってください
- ② 観客席の消毒についても開場前、退場後に必ず消毒を行ってください。

- ・ 除菌スプレー
- ・ 除菌ウェットティッシュ
- ・ 雑巾
- ・ ペーパータオル など



- ③ ゴミの廃棄について、鼻水、唾液などが付いたゴミは、ビニール袋に入れて密閉して縛り、ゴミを回収する人は、マスクや手袋を着用し、また、マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石鹸と流水で手を洗い、手指消毒を行ってください。

【2-4】大会運営

7. その他

(1) 飲食時は以下のルールを厳守願います。

- ① 食事中は黙食を心がけ、向かい合っでの食事は控えてください。
- ② 食事後は必ず、その付近の消毒をお願いします。
- ③ 食べ終わったゴミは放置せず、指定されたゴミ袋や段ボールなどにまとめ必ず持ち帰ってください
(ゴミ処理に関しては主催者側に確認ください)。

(2) 大会の主催者は、万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取り扱いに十分注意しながら、大会当日に参加者より提出を求めた書面について、保存期間（少なくとも1ヵ月以上）を定めて保存しておく必要があります。

また、大会終了後に、参加者から新型コロナウイルス感染症を発症したとの報告があった場合や、地域の生活圏において感染拡大の可能性が報告された場合の対応方針については、開催自治体の衛生部局、保健所や医療機関との連携が重要になりますので、あらかじめ連絡先等の確認をしておくことが大切です。

【3】 競技運営

1. 競技に関する留意事項（コート関連）

- ① 会場の定期的な換気を行ってください。
- ② コートの設営は隣接コートと十分な間隔を確保してください。
- ③ チームベンチは身体的距離が確保できるよう、拡大して設置し1席分を空けて座ってください。
- ④ チームベンチは試合前、セット間、試合後に消毒を行うようご協力ください。
※コートチェンジを行わない場合は試合後の消毒を行ってください。
- ⑤ 記録席、ネット・ボール・得点板は審判団および競技役員が試合間に消毒を行ってください。
- ⑥ コート面のモップはチームで対応することにしますが、枝つきモップ（1本）を準備しておいてください。
- ⑦ 各チームでベンチに持ち込む用具（練習球など）は、使用前後で必ず消毒を行ってください。
- ⑧ タオル、水ボトル、アイシングバッグなどの共用は控えてください。
- ⑨ ベンチの選手及びチームスタッフはマスクを着用し、大きな声出しは控え、飛沫防止を徹底してください。
- ⑩ チーム内で出たゴミは必ず持ち帰ってください。

2. 競技に関する留意事項（プロトコール・試合中）

- ① 試合開始時、終了後は競技役員（係員）の指示で移動してください。
- ② 試合前のトス時、チームキャプテンと審判間の挨拶は一礼などで行います。
- ③ 試合への出場選手以外は、チーム関係者全員がマスクを着用してください。また、自身の感染リスクや他の選手に配慮してコート内の選手がマスクを着用しても問題ありません。
- ④ 試合球のボール使用については主催者側が判断します。試合球は複数個用意し、こまめに消毒を行って交換しながら使用してください。
- ⑤ プロトコールでの試合前後の挨拶はエンドライン上で行い、ネットを挟んでの握手は行いません。
- ⑥ 試合前後やタイムアウトでのベンチ集合時、できるだけ密集・接触を避けてください。
- ⑦ 競技中、靴底を手で触らないでください。
- ⑧ 競技中のハイタッチはできるだけ避けるようにしてください。
- ⑨ 審判団は必ずマスクを着用してください。
- ⑩ 審判を担当する場合、飛沫による感染予防の観点から電子ホイッスルを使用してください。
なお、電子ホイッスルは各チームで準備してください。
主審・副審はマスクを着用し、フェイスシールドも合わせて着用してください。
※コート内で陽性者が発生した場合、フェイスシールドをしていない審判員が濃厚接触者となるケースも報告されています。
各チームでご準備をお願いします。

【4】 その他留意事項

1. 新型コロナウイルス感染症にかかる相談窓口について

- (1) 新型コロナウイルス感染症が心配なとき、発熱・咳・咽頭痛などの症状で体調が悪い場合は、かかりつけ医のいる方は、かかりつけ医（病院）に電話でご相談ください。また、都道府県の発熱相談センターや厚生労働省の下記新型コロナウイルスに関する相談・医療の情報や受診・相談センターの連絡先を参照ください。

《参考》 https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/covid19-kikokusyasessyokusya.html

- ① 各地域における医療機関・新型コロナウイルス受診相談窓口の受付時間や電話番号等は事前に確認しておくこと（休日・夜間等も）
 - ② 医療機関の診療および検査結果において、陽性者と診断された場合には、保健所および医療機関の指示に従う
- (2) 新型コロナウイルスは潜伏期間（発症の2～3日前）から他人に感染させる可能性があります。その期間に接触のあった方は、保健所から連絡により、濃厚接触者と認定される場合があります。また、感染してから発症するまでの潜伏期間は1日～14日（平均5日）です。感染源を探す際、14日間の行動（対人接触）をさかのぼってモニターすることになります。
- (3) 新型コロナウイルス感染症に関わる窓口は、保健所および医療機関になります。これらの指示により対応することになります。

《参考》

- 厚生労働省 ➡ 健康や医療相談の情報 / 感染防止と医療提供体制の整備

健康チェックシート（提出用）

本健康チェックシートは、JVAの加盟団体が開催する各種大会・講習会において、新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、来館者の健康状態を確認することを目的としています。

本健康チェックシートに記入いただいた個人情報について、各協会及び主催者は、厳正なる管理のもとに保管し、大会・講習会等運営関係者の健康状態の把握、来場可否の判断および必要なご連絡のためにのみ利用します。また、個人情報保護法等の法令において認められる場合を除き、ご本人の同意を得ずに第三者に提供いたしません。但し、大会会場にて感染症患者またはその疑いのある方が発見された場合は、必要な範囲で保健所等に提供することがあります。

<基本情報>

チーム名 又は 所属		所属	
フリガナ		生年月日	西暦 年 月 日 (歳)
氏名		携帯電話番号	
		Eメール アドレス	
自宅住所	〒		

<大会当日までの体温> 各週の来場初日にご提出ください。来場初日14日前からの記録をお願いします

日付	起床時体温	日付	起床時体温	日付	起床時体温	日付	起床時体温
/ ()	℃	/ ()	℃	/ ()	℃	/ ()	℃
/ ()	℃	/ ()	℃	/ ()	℃	/ ()	℃
/ ()	℃	/ ()	℃	/ ()			
/ ()	℃	/ ()	℃	/ ()			

<大会前2週間における健康状態> ※該当するものに「✓」を記入してください。

チェック項目	チェック欄
① 平熱を超える発熱がない	
② 咳（せき）、のどの痛み等の風邪症状がない	
③ だるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）がない	
④ 臭覚や味覚の異常がない	
⑤ 体が重く感じる、疲れやすい等の症状がない	
⑥ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がない	
⑦ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいない	
⑧ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間が必要とされている国、地域への渡航または当該在住者との濃厚接触がない	
⑨ その他、気になること（以下に自由記述）	